



## タイムス 少年サッカー

# セダツクが3位

第二十三回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップ(市民タイムス、松本市サッカー協会、松本市サッカー協会主催、カガミグループ協賛)は十六日、松本市のアルウィンなどで準々決勝以上の8試合があった。諏訪(諏訪市)―裾

花(長野市)の決勝は、裾花が3-0で勝ち、九年ぶり二回目の優勝を飾った。中信勢は3位決定戦で岡谷東部(岡谷市)を2-1で下したセダツクが最高位だった。

返されたが余裕を持って押し切った。裾花の小林柘哉選手が最優秀選手に輝き、優秀選手に諏訪の足助翔梧選手が選ばれた。閉会式では上位チームを表彰し、健闘をたたえた。大会長の新保力・市民タイムス社長は「大会で学んだことを生かし、大きく育ってほしい」と期待を寄せた。

3位を懸けてゴール前で激しく競る選手たち(岡谷東部―セダツク)

と封じ、栄冠を手繰り寄せた。3位決定戦は、セダツクが前半に2点を先行し、後半早々に1点を

(肥後健二)  
【関連記事14面】